

2014年11月10日

「東京湾ダイオウイカ」一般公開記念 **2014年11月22日(土)より開催**
特別企画展「イカ的神秘を探る！」

「東京湾ダイオウイカ」の内臓類や、迫力のダイオウイカレプリカ模型などを展示

株式会社京急油壺マリンパーク（博物館相当施設：神奈川県三浦市，社長：安藤 浩史）では，2014年11月22日（土）より，「東京湾ダイオウイカ」一般公開を記念し“特別企画展「イカ的神秘を探る！」”を開催いたします。

本年3月に生存状態で当館へ搬入された「東京湾ダイオウイカ」は，8月に学術解剖を行い，その際新たに得られた知見とともに9月より一般公開し，来館されたお客さまの人気を集めました。そこで、「東京湾ダイオウイカ」の特別企画展として，解剖の際に摘出された内臓類や全長6.7mに及ぶダイオウイカレプリカ模型など，さらに内容を充実させた特別展示を行う運びとなりました。また，展示会場ではさまざまなイカの仲間たちの生体を展示し，その多様な種類や生態，特徴などについてパネルで紹介します。

詳細は別紙のとおりです。



全長6.7mのダイオウイカレプリカ模型を展示

特別企画展「イカ的神秘を探る！」について

1. 開催日 2014年11月22日(土)～ ※終了日は未定
2. 展示場所 京急油壺マリンパーク内 水族館“魚の国”1階 第2特別展会場
3. 展示内容 (1) 「東京湾ダイオウイカ」内臓類展示(液浸標本)

カラストンビ(イカの口) - 幅約6cm

食道が細いため、捕まえた獲物は流動食になるまでカラストンビでよく噛み碎いて食べる。

口球の筋肉から、かなり噛む力が強いのではないかと推測される。



肝臓 - 755.5g

吸収した栄養成分は血管を通り、肝臓に蓄えられる。



鰓(えら)

左(写真:上) : 124g

右(写真:下) : 112g



眼球 - 眼径12.5cm

ダイオウイカは、暗闇でもものがはっきり見えるようになる「桿体」という視細胞の数がヒトより多く、触腕の先端付近まではかなりはっきりと眼が見えているのではないかと推測される。



- (2) ダイオウイカレプリカ模型(国立科学博物館所蔵)
- (3) 生体展示(生体の状態などにより変更あり)
アオリイカ、カミナリイカ、コウイカ、ミミイカ
頭足類(イカの仲間)として、タコ類(メジロダコ、マダコ、イイダコなど)
- (4) イカの透明標本
- (5) 解説パネル(頭足類とは、イカの特徴、分布などについて)
- (6) ダイオウイカがモデルとされる怪物“海魔”^{かいま}の伝説について紹介

ダイオウイカについて

1. 学 名 *Architeuthis dux* Steenstrup, 1857
2. 英 名 Giant Squid
3. 分 類 軟体動物門頭足綱ツツイカ目ダイオウイカ科
4. 分 布 生息深度：300m～1,500mの深いところに生息
5. 特 徴 鱗は丸みがあって、両葉合わせて軍配型。触腕が非常に長く、掌部には4列の吸盤が並ぶが、基部に小吸盤の大集団があり、触腕柄部にも小吸盤と肉瘤が2列に並ぶ。

京急油壺マリンパークについて

- 名 称 株式会社京急油壺マリンパーク
- 所 在 地 神奈川県三浦市三崎町小網代 1082
- 代 表 者 取締役社長 安藤 浩史
- 営 業 開 始 1968年4月27日
- 営 業 時 間 9時～17時(詳しくはホームページをご覧ください)
- ホームページ <http://www.aburatsubo.co.jp>
- 休 館 日 2015年1月13日(火)～16日(金)
- 入園料金(税込) 大人：1,700円 中学生：1,300円 小学生：850円 幼児(3歳以上)：450円
- ア ク セ ス 電車：京急線・品川駅より三崎口駅(約65分/快特電車ご利用)
三崎口駅より油壺行きバス(約15分)終点下車徒歩5分
車：横浜横須賀道路 衣笠 I.C から三浦縦貫道路経由(10km)

※本件に関する紙面掲載および放送時は、当社名の告知をお願いします。

お客様からのお問合せ先 TEL. 046-880-0152(営業時間内)

以 上